福岡市政記者担当各位

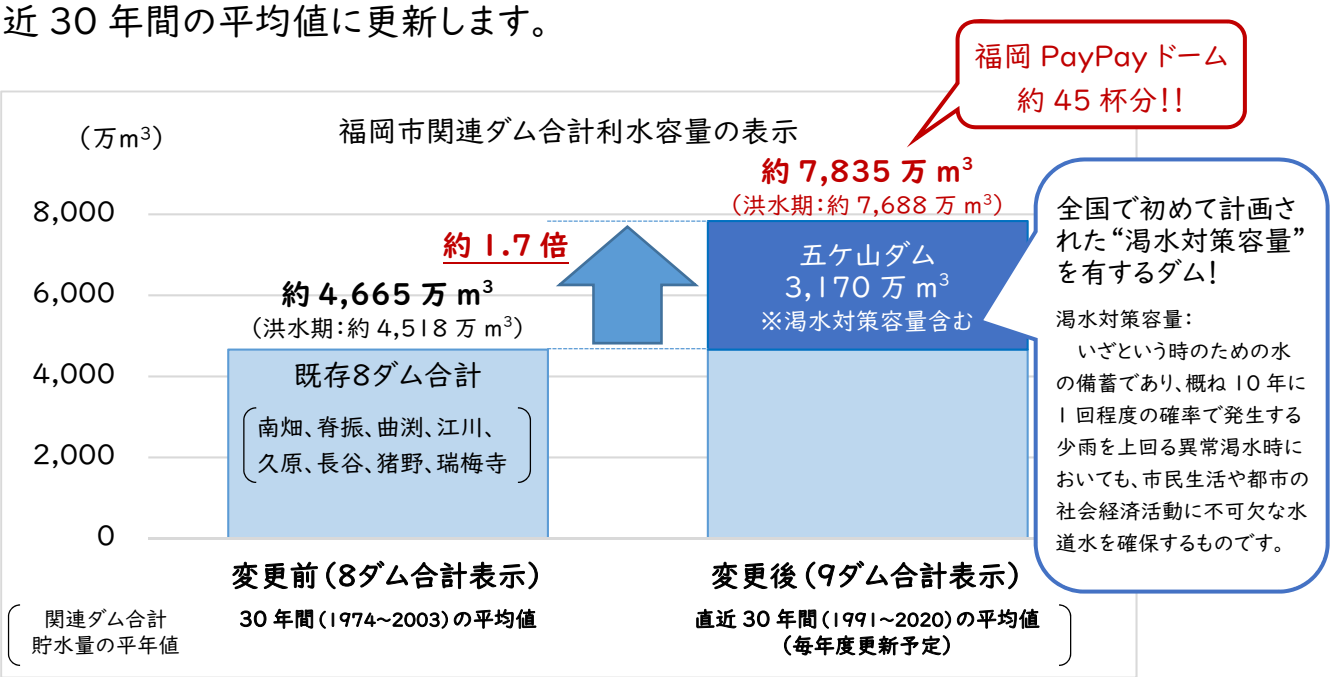
令和3年9月 29 日
福岡市水道局

市民に身近な「福岡市関連ダムの貯水状況」を「8ダム合計表示」から「9ダム合計表示」に変更します！

福岡市関連ダムの貯水状況を水道局 HP 等でお知らせする際の表示を、令和 3 年 10 月1日より、五ケ山ダムを含む9ダム合計表示に変更します。

（これまでは、五ケ山ダムが完成検査のため貯水位を下げた状態からの供用開始（R3.1.21）であったことから、五ケ山ダムを除く既存の8ダム合計の貯水状況を表示し、五ケ山ダムの貯水状況は別枠で表示してきました。）

また、あわせて関連ダム合計貯水量の平年値についても、同日から、直近 30 年間の平均値に更新します。



※別紙：【参考資料】福岡市の水資源開発の歩み

【お問い合わせ先】
水道局 浄水部 水管理課 船木（ふなき）
電話 092-483-3171 FAX 092-482-3150

福岡市水道局
公式ツイッター

水道局マスコット
フクちゃん

別紙：【参考資料】

福岡市の水資源開発の歩み

- 水資源に恵まれない福岡市は、給水人口の増加や都市化の進展に伴う水需要の増加に対応するため、これまでに 19 回にも及ぶ拡張事業を重ねながら、水資源の確保に取り組んできました。
- 計画していた水資源開発は、水源地域・流域の皆様をはじめとした関係者のご支援とご協力により、令和3（2021）年1月に供用開始した五ケ山ダムをもって、全て完了を迎えることになりました。
- これにより、福岡市関連ダムの合計利水容量は、これまでの約 1.7 倍となる約 7,835 万 m^3 に増加し、水の安定供給に寄与するとともに、異常渇水時にも市民生活等への影響を大幅に緩和できるようになりました。

- また、福岡市では、2度の異常渇水の経験を契機として、市民と行政が一体となった「節水型都市づくり」を進めています。
- その結果、市民1人当たりの水使用量は大都市の中で最も少なく、近年は、世界トップといえる低い漏水率を実現しています。

- 今後とも、貴重な水資源の有効利用や適切な維持管理等に努め、水の安定供給を図っていきます。

【水資源開発の歩み】